

省エネルギーセンターから派遣された
専門家が、トルコの製造工場でエネ
ルギー管理者らに実地指導を行う



省エネを推進していく 人材を育てたい

省エネ推進の中核機関として、日本国内で実績を積み上げてきた財団法人省エネルギーセンター。
その活動は開発途上国での人材育成など世界へと広がっており、
省エネ分野の国際協力において欠かせない存在となっている。

省エネ先進国・日本の 土台を築く

わずか3カ月で4倍近くも原油価格が高騰した1973年の第一次オイルショックは、それまで安価な石油に依存していた日本経済に大きな打撃を与えた。その苦い経験を踏まえ、省エネを推進してエネルギーの安定供給を確保しようとの政策に基づき、78年に設立されたのが財団法人省エネルギーセンターだ。以来、日本の省エネ推進の中核を担い、工場やビルの省エネ診断、省エネ機器の普及促進、家庭や学校・企業での省エネ活動の啓発・広報などの活動を通じて、**「省エネ先進国・日本」**の実現に貢献してきた。また、国家資格である「エネルギー管理士」認証のための試験や研修業務なども国からの委託を受けて行っている。

省エネルギーセンターでは、主にアジアを中心とする開発途上国を対象に、専門家の派遣や研修員の受け入れを通じた国際協力にも取り組んできた。特に近年は、エネルギー資源や気候変動問題が顕在化する中、グローバルな観点から省エネを推進



「省エネ家電コンシェルジュ」が日本全国の小中学校を訪問し、家庭でできる省エネなどについて考える省エネ出前講座の様子

しようと、JICAや経済産業省、日本貿易振興機構などと連携しつつ、途上国の省エネ促進協力を力を入れていく。

日本の省エネ政策や制度、企業などの優れた取り組みを学び、自国で役立ててもらおうことを目的に、主に途上国のエネルギー政策関係者を対象に行われるJICAの省エネルギー関連の研修事業。省エネルギーセンターは、その主な研修受託機関として、これまで20年以上にわたり約750人の研修員を受け入れてきた。

また、JICAが各国で取り組む省エネ分野の技術協力の専門家として人材を派遣。さらに、人材育成拠点としてJICAが中国やアルゼンチン、イランなど計7カ国で支援した「省エネルギー研修センター」設立プロジェクトにも協力しており、訓練用機器の選定や導入、研修コースの運営管理、指導、テキスト作りの支援などを引き受けてきた。

省エネセンターの設立、 人材育成を支援

支援先の一つ、「トルコ・省エネルギーセンター」では、機材整備や研修の運営支援を通じ、エネルギー管理者の育成体制が強化され、研修修了者が大幅に増加したという成果を挙げている。また、設立段階から携



タイのエネルギー管理者訓練センターに導入された訓練用の機器を使い、実習を行うエンジニアたち



省エネルギーセンターの研修プログラムに参加し、バーナーの燃焼実習を行うポーランドの研修員

わった「タイ・エネルギー管理者訓練センター」では、指導者の育成に加え、タイ政府によるエネルギー管理者制度の改善とこれに伴う試験制度の再構築、その運営管理に協力。今では、ここで資格を取得した人材が指導者となっており、彼らのもとで次世代の人材やエネルギー管理者試験の合格者が次々と生まれている。さらに両センターは、周辺国からもエネルギー管理者研修を受け入れるなど、それぞれ中東や東欧、東南アジアの省エネ推進の拠点としても活躍している。

ともあるんです。彼らは、研修の成果を国に持ち帰り、それを根付かせようと努力を続けてくれている。そうして時を経て一緒に仕事をできるのはうれししいし、この人々がさらなる協力を進めるための人的ネットワークの礎になっています」と国際協力本部の吉田和彦・協力総括部長は話す。

省エネルギーセンターでは2007年、東南アジア諸国、中国、インドといったアジア各国の省エネをより効果的に支援するため、センター内に「アジア省エネルギー協力センター」を設置。省エネに関する最新情報の発信や、省エネ推進機関のネットワークづくりなど、アジア向けの新たな活動も展開している。

苗加順一・同センター長は、「一番大切なのは、自ら省エネのためのアイデアを出し、それを新たな改善につなげていける人材を育てる、ということ。それを実現するためには、現地の訓練施設や機材の整備、専門家派遣、日本での研修など、ハードとソフトを組み合わせたきめ細かい人材育成が必要であり、JICAとの連携は非常に効果的です」と、その意義を強調する。

エネルギー消費量がどんどん伸び続ける途上国。省エネ分野の国際協力はますます重要になってくる。日本が培った省エネの秘訣を世界に広め続けている省エネルギーセンターの活躍の場は、今後も一段と増えそうだ。

省エネルギーセンターが JICAのプロジェクトで協力した国

